

【2022/12/5-7】第2回 建設DX展（東京ビッグサイト）に出展
BIM 設計-生産-施工支援プラットフォーム「BuildApp」で内装・建具工事の工程革新
～野原グループは、BIM を活用したデータ連携による自動化で、生産性向上、廃材削減へ～



■BIM 積算-プレカット「BuildApp 内装」

野原ホールディングス株式会社（所在地：東京都新宿区、代表取締役社長：野原弘輔）は、2022年12月5日から7日まで東京ビッグサイトで開催される「第2回建設DX展」に出展し、建設業界の生産性向上と廃材削減（CO2削減）を支援するBIM設計-生産-施工支援プラットフォーム BuildApp（ビルドアップ）を展示、紹介をします。（弊社ブース、小間番号21-3）

「BuildApp」が対応する、設計積算、生産、流通、施工管理、維持管理の各工程のサービスのうち、9月末に開催された建設DX展（関西）でも反響のあった（詳細は最終頁に後述）、BIM積算・プレカット「BuildApp 内装」と建具 BIM-工場生産連動「BuildApp 建具」のサービス実演を予定しています。ご来場された皆さまは、BIMを活用したデータ連携による自動化で、内装・建具の各プロセスがどのように変わるかをご覧ください。

私たちは、政府による産業内のデジタル活用強化や2050年までのカーボンニュートラル¹宣言を踏まえ、DX²による生産性向上や廃材・CO2排出量の削減を目指す建設企業とともに、サプライチェーン³を変革し、業界をアップデートしたいと考えています。



●BuildApp ブース（小間番号21-3）の見どころ

1. BuildApp 内装（ゼネコン～工事店～メーカーを結ぶプロセスの変革）
ARでのBIM-プレカット施工デモ、事例紹介
2. BuildApp 建具（ゼネコン～メーカー～工場を結ぶプロセスの変革）
「建具施工図自動化」「建具BIM生産連動」のデモ、事例紹介
3. VRコーナーデモ
VRによる最先端の施工管理体験、空間キャプチャー技術が特長のMatterport（マターポート）体験

野原グループ CEO 野原弘輔のコメント

今、我が国の建設産業は転換期にあります。

国内建設需要の縮小、労働者の高齢化等で、産業そのものが大きく縮小をする危機にあります。また、地球環境を維持する取り組みにおいても、建設における廃材や CO2 排出量の削減など、我々が解決しなければいけない課題が沢山あります。

私たちは、AI（人工知能）や ICT（情報通信技術）、BIM（Building Information Modeling）など先端技術を活用し、これらの業界課題を解決するため、BIM 設計-生産-施工支援プラットフォーム「BuildApp（ビルドアップ）」を中心とした建設 DX 推進事業を展開しています。

BuildApp は、建設に関わる各種データの横断的な利活用を促進し、データドリブン（情報駆動型）な建設プロセスを実現する「新たなプラットフォーム」です。可視化・集約化したデータ（情報）をもとに、建設プロジェクトの関係者をつなげ、廃材量や CO2 排出量の削減、生産性向上を実現していきます。



第 2 回建設 DX 展（東京） 出展概要

1. 主な展示予定（弊社ブース番号：21-3） ※詳細は後日発表



BIM 設計-生産-施工支援プラットフォーム BuildApp（ビルドアップ） は、2,500 万㎡超（東京ドーム約 535 個分）の内装積算⁴実績と建具の豊富な施工実績、BIM⁵やデジタル技術を集約させています。

私たちが得意とする「内装・建具工事」の関係者を BIM 起点のデータで繋いで連携を生み、工程の可視化や業務の自動化により業界内の無駄を解消し、サプライチェーン変革により、生産性向上・廃材削減・CO2 削減に貢献します。（サービス群の詳細は別紙を参照願います。）

BIM 設計-生産-施工支援プラットフォーム BuildApp が目指すこと

課題	解決イメージ
生産性向上 （業務時間短縮、 人員稼働削減）	BIM データをすべてのプロセスに連携することで、以下を短縮 ● 見積り期間や施工時間、生産リードタイム ● 施工図作成など各種資料作成工程
廃材（産業廃棄物） と CO2 削減	● BIM・建材データの連携による設計段階での適切な材料試算、材料試算に連動した発注、設計段階での環境に優しい資材の提案・活用 ● 生産工程への情報連携による材料の切出し
各工程を通じた BIM の横断活用	● BIM を「BuildApp」上で各関係者が扱える情報に弊社が「翻訳」することで関係者間の「連携」を生み、BIM を活用しやすくなる

2. 展示会 e 招待券（弊社出展情報と無料招待券のセット）

<https://www.japan-build.jp/tokyo/ja-jp/search-ex/2022/kdx/directory/details.org-da18482b-9ff0-4520-915a-2fcd6f983a1a.html#/>

3. 第 2 回建設 DX 展（東京）について

イベント名	第 2 回建設 DX 展（RX Japan 株式会社主催ジャパンビルドー建築の先端技術展一内）
開催期間	2022 年 12 月 5 日（月）～12 月 7 日（水） 各日 10:00～18:00（最終日は 17:00 終了）
会場名	東京ビッグサイト 西展示棟（〒135-0063 東京都江東区有明 3-11-1） りんかい線「国際展示場駅」（徒歩約 7 分）/ゆりかもめ「東京ビッグサイト駅」（徒歩約 3 分）
弊社ブース	21-3
入場料	5,000 円（税込）※事前登録の場合は無料
WEB	https://www.japan-build.jp/tokyo/ja-jp.html

第2回建設DX展（関西）の実施レポート



野原ホールディングスは、2022年9月28日（水）～9月30日（金）に開催された第2回建設DX展（関西）にも出展しました。

関西展では、会期中3日間における弊社のBuildAppブース来場者1,700名のうち、415名の方が体験デモに参加され、期待値の高さが伺えました。

●デモ体験者数TOP3

	デモ体験名	参加者数
1位	【BuildApp 内装】内装BIM-プレカット加工連動	104名
2位	【BuildApp 内装】【BuildApp 建具】内装建具モデル詳細化・属性情報追加デモ	95名
3位	【BuildApp 内装】5D自動積算・見積	79名

野原ホールディングス株式会社について

野原ホールディングスを中心とする野原グループは、「CHANGE THE GAME. クリエイティブに、面白く、建設業界をアップデートしていこう」のミッション実現に向け、これまで培ってきた知見をさらに磨き、未来につなげていくことで、より一層社会に貢献して参ります。

<https://nohara-inc.co.jp>



お問合せ先

【お客さまからの問合せ先】

野原ホールディングス株式会社
建設DX推進統括部
e-mail: info@build-app.jp

【報道関係者からの問合せ先】

野原ホールディングス株式会社
マーケティング部
ブランドコミュニケーション課
担当：齋藤、森田
e-mail: nhrpreso@nohara-inc.co.jp
TEL: 03-6328-1576

¹ 政府は、2020年10月に2050年カーボンニュートラル（温室効果ガス排出量実質ゼロ）を目指すことを宣言しました。同年12月には、経済産業省が中心となり、関係省庁と連携して「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」も策定しています。国土交通省からは、地球温暖化緩和策が発表されています。（<https://www.mlit.go.jp/common/001386820.pdf>）

² DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、経済産業省に定義によれば「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」を指し、単なるデジタル活用とは区別されています。

³ サプライチェーンとは、商品や製品が消費者の手元に届くまでの、調達、製造、在庫管理、配送、販売、消費といった一連の流れのこと。

⁴ 非住宅分野における内装工事の詳細は、建設産業担い手確保・育成コンソーシアムより発表されている【「内装仕上げ工事ガイドブック第13版】」を参照願います。https://www.kensetsu-kikin.or.jp/database/pdf/%E5%BB%BA%E8%A8%AD%E7%8F%BE%E5%A0%B4%E3%81%A7%E5%83%8D%E3%81%8F%E3%81%9F%E3%82%81%E3%81%AE%E5%9F%BA%E7%A4%8E%E7%9F%A5%E8%AD%98%EF%BC%88%E5%86%85%E8%A3%85%E4%BB%95%E4%B8%8A%E5%B7%A5%E4%BA%8B%E7%B7%A8%EF%BC%88%E9%9D%9E%E4%BD%8F%E5%AE%85%E7%B7%A8%EF%BC%89%EF%BC%89_201912.pdf

また、積算とは図面などの設計図書をもとに建設プロジェクトで使用する材料とその数量を拾い出し（計算して）、建物を建てるのに必要な金額を算出していく作業を言います。

⁵ BIM（ビム/Building Information Modelingの略称）とは、建築物のデジタルモデルに、部材やコストなど多様な属性データを追加した建築物のデータベースを持たせ、設計・施工・維持管理の各プロセスを横断して活用するためのソリューションです。野原グループでは、2017年よりBIM事業に注力しています。